

「＜資産運用コンサルティングのポイント Vol.26～ 資産運用商品としての保険の注意点 ～後篇～＞」



株式会社 ZUU の富田和成です。前回に引き続き、運用商品としての保険について見ていきたいと思います。

『個人年金保険』のメリット・デメリット

個人年金保険は、例えば、60 歳から毎年 100 万円を受け取れるというように、年金形式で保険金を受け取れる商品である。年金形式で受け取るため、運用期間が長くリターンも大きくなります。退職金を一時払いで支払い、年金形式で受け取ることができるので、計画的な運用ができます。

また、公的年金の支給開始年齢が引き上げられてきているため、そのつなぎ資金としても注目が集まっています。一時的に大金が必要な場合など、途中解約すると元本割れすることがあるので、自由度が低さがデメリットとなります。

『変額終身保険』は運用の成否で対応を変える

終身保険としての性質はそのまま、運用を株式などで行う保険です。株価の変動などにより保険金額、解約返戻金が増減するため、「変額保険」と呼ばれています。運用実績によって大きなリターンを得られる期待がある反面、株価が下落すると、大きく資産価値が毀損される可能性が高いため注意が必要です。

ただし、死亡保険金は保証されるため、運用がうまくいけば解約してリターンを受け取り、運用がうまくいかなければ保険として割り切るという使い分けができます。

『変額個人年金保険』はあくまで余裕資金での運用を

個人年金の運用を株式などで行う保険です。変額終身保険と同様、運用実績により、将来受け取る年金や解約返戻金が増減するので、インフレによる資産価値の減少のリスクを解消することができる商品となっています。

ただ、老後資金という点を考えると、万が一運用実績がよくなないと、受取額が減ってしまうので、あくまで余裕資金で運用することが望ましいでしょう。最低保障額を設定している保険商品もあるので、加入時にはその点も確認しておきたいポイントです。

『外貨建終身保険』は為替手数料の高さに注意

外貨建終身保険は、運用を外貨で行う終身保険です。金利が高い国の通貨で運用することで高い利回りが期待できます。ただ、為替相場の変動により、資産価値が高まる場合と資産価値が下落する場合があります、為替リスクが存在します。また、日本円に替えるための為替手数料や維持管理にかかる費用が高い点もデメリットといえます。

『外貨建個人年金保険』は為替の影響をより受けやすい

外貨建個人年金保険は、運用を外貨で行う年金保険です。基本的な仕組みは、外貨建終身保険と同じですが、年金の場合、長期で年金を受け取るので、為替の影響もより大きく受けやすくなります。

2回にわたり「運用商品としての保険」を見てきました。以上のとおり、運用商品としての保険には、様々な種類があります。ただでさえ、保険の内容は複雑なので、よくわからないままに保険商品に手を出すとわずかな損失を被りかねません。しっかりとメリットとデメリットを把握した上で、余裕資金で行うというスタンスで臨むことが肝要でしょう。

>>更に資産運用に関する情報を見られたい方はこちら。

<http://www.nichizei.com/fpforum.html>

<著者プロフィール>

富田和成 株式会社ZUU 代表取締役社長兼CEO

http://zuu.co.jp/company/ceo_message

大学在学中にソーシャルマーケティングにて起業。2006年に一橋大学を卒業後、野村證券株式会社に入社。支店営業にて同年代のトップセールスや会社史上最年少記録を樹立し、最年少で本社の超富裕層向けプライベートバンク部門に異動。その後シンガポールへの駐在、ビジネススクール（金融商品の組成、マーケット・企業分析、ポートフォリオ理論、オルタナティブ投資などを学ぶ）への留学やタイへの駐在などを経て、本店ウェルスマネジメント部で金融資産10億円以上の企業オーナー等への事業承継や資産運用・管理などのコンサルティングを担当。2013年3月に野村證券を退職し、「金融×IT」で時価総額100兆円を超える世界一の企業を創るべく、株式会社ZUUを設立。設立から約1年半で10種類の金融・経済関連メディアを立ち上げ、配信先含めて月間1,000万アクセスを超える日本最大級の金融・経済サイトへと成長させる。月間2万人を超える資産アドバイザーが訪問する専門サイトZUU Advisors Supportを運営するなど専門家向けのサービスも行っている。

参考：ZUU Advisors Support： <http://support.zuuadvisors.com/>

：ZUU online： <http://zuuonline.com/>

◇今後のメルマガをより良い物とするために下記のページより皆様のお声をお聞かせ下さい。

<http://www.nichizei.com/fp-enquete.html>

メルマガ執筆者募集のお知らせ

税理士FP実務研究会事務局では、FP実務に関する様々なテーマでメルマガの執筆をしていただける方を募集中です。分野・テーマ等は自由です。最近の相談事例や得意分野など、ぜひ寄稿ください。執筆を希望される方は、税理士FP実務研究会事務局【㈱日税ビジネスサービス 総合企画部】までご連絡ください。TEL 03-3340-4488